

2024年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：経済統計学特論	
担当教員名：七宮 圭	
<p>授業科目概要：</p> <p>この授業では、経営経済分野における研究論文を作成するために必要なデータや、新聞やニュースなどで取り扱われる経済指標などの公的統計、データを取り扱うために必要な初歩的な統計学を取り扱う。</p> <p>この授業で取り扱う統計学の範囲は、データの特徴を表すための記述統計学と回帰分析を含む推測統計学を予定しており、Excelを用いたパソコン実習も行う予定である。</p> <p>また、履修証明プログラムの入り口の科目として、データや経済指標などがどのように作成され、社会において用いられているのかを、事例を紹介しながら授業を進めることを考えている。</p> <p>なお、授業で取り上げる内容については、受講生の研究計画にあわせて調整したい。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>Excelを使った実習を行うので、指示があった場合にはパソコンを持参すること。 <u>受講希望者は必ず事前にメールで問い合わせること。</u></p> <p>推測統計学については統計学特論においてより詳細に取り扱うので、統計学特論も受講することが望ましい。</p>	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名：コア・テキスト統計学（第3版）</p> <p>著者／編者：大屋幸輔</p> <p>出版社：新世社</p> <p>出版年：2020年</p>	<p>書名：経済統計の実際</p> <p>著者／編者：日本統計学会編</p> <p>出版社：東京図書</p> <p>出版年：2022</p>
<p>書名：経済統計の活用と論点(第3版)</p> <p>著者／編者：梅田雅信、宇都宮浄人</p> <p>出版社：東洋経済新報社</p> <p>出版年：2009</p>	<p>書名：Excelによる統計入門 [第4版]</p> <p>著者／編者：縄田和満</p> <p>出版社：朝倉書店</p> <p>出版年：2020</p>
<p>書名：基本統計学 第5版</p> <p>著者／編者：宮川公男</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2022</p>	<p>書名：データ分析をマスターする12のレッスン [新版]</p> <p>著者／編者：畑農鋭矢、水落正明</p> <p>出版社：有斐閣</p> <p>出版年：2022</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>授業内の課題（平常点）50点、最終レポート50点の計100点で評価する。 Aは80点以上、Bは70点以上、Cは60点以上、Fは60点未満とする。</p>	
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>① 主要な公的統計の入手方法や作成方法、特徴を理解すること。</p> <p>② 初歩的な統計学の知識を習得すること。</p> <p>③ Excelを使ってデータから主要な統計の値を計算できるようになること。</p> <p>を目標とする。</p> <p>講義に加え、練習問題やExcelによるパソコン実習を交えて授業をおこなう予定である。 また、使用する教科書・参考書は受講者の予備知識と問題関心を踏まえて決定する。 このため、受講生の関心や理解度によって以下の授業計画は変更する可能性がある。</p>	

第1回	テーマ：ガイダンス、データの種類、標本設計 内 容： 教科書／参考書
第2回	テーマ：公的統計① 内 容：景気動向指数など 教科書／参考書
第3回	テーマ：公的統計② 内 容：消費者物価指数など 教科書／参考書
第4回	テーマ：公的統計③ 内 容：国民経済計算など 教科書／参考書
第5回	テーマ：記述統計学① 内 容：度数分布表、ヒストグラム、平均など 教科書／参考書
第6回	テーマ：記述統計学② 内 容：分散・標準偏差、範囲・四分位範囲など 教科書／参考書
第7回	テーマ：記述統計学③ 内 容：変動係数、標準化変量、ジニ係数など 教科書／参考書
第8回	テーマ：記述統計学④ 内 容：共分散、相関係数、クロス表など 教科書／参考書
第9回	テーマ：推測統計学① 内 容：母集団と標本について 教科書／参考書
第10回	テーマ：推測統計学② 内 容：推定について 教科書／参考書
第11回	テーマ：推測統計学③ 内 容：仮説検定について 教科書／参考書
第12回	テーマ：推測統計学④ 内 容：推測統計学の実習 教科書／参考書
第13回	テーマ：回帰分析① 内 容：単回帰分析 教科書／参考書
第14回	テーマ：回帰分析② 内 容：重回帰分析 教科書／参考書
第15回	テーマ：回帰分析③ 内 容：回帰分析の実習 教科書／参考書